

福井県医師会

だより

第642号 平成26年(2014)12月



シュカブラと大汝峰

福井市 石黒 信彦

表紙写真説明：シュカブラと大汝峰

福井市 石黒 信彦

11月末、白山にとうとう雪がやってきた。日曜登山家の私は到底厳冬期には登山出来ず、今日は今シーズン最後の山登りだ。願ってもない好天に恵まれ、雲一つない快晴である。先日来の強風で、ここ御前峰の稜線に大きなシュカブラ（雪紋）が出来ており、その向こうには新雪の大汝峰がどっしりと構えている。最高に爽快な気分である。

## 醫 縫 録

# JCHO(ジェイコー)のミッションと JCHO 福井勝山総合病院の紹介



JCHO 福井勝山総合病院長 兜 正 則

平成26年4月1日付けで、河北公孝前院長の後任として病院長を拜命しました兜でございます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。当院は、本年4月1日より、社団法人全国社会保険協会連合会が運営委託を受けていた公設民営の「福井社会保険病院」から、新設の独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)が直接運営する公設公営の「JCHO 福井勝山総合病院」へと名称変更して新たなスタートを切りました。これも偏に医師会の先生方のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

当院の歴史は、厚生省が社会保険診療の模範的診療を使命とした病院を全国に展開するために、昭和21年に勝山町立竜東病院を買収し、日本医療団「健康保険勝山病院」として発足したのに始まります。昭和33年に社団法人全国社会保険協会連合会(全社連)に経営委託され、「社会保険勝山病院」と名称変更し、更に平成11年5月に現在の地に新築移転したのを機に「福井社会保険病院」になり、平成26年3月31日まで奥越唯一の公的中核病院として地元医師会の先生方と連携しながら奥越の地域医療を支えて参りました。この間、ご存じのように健康保険・厚生年金財源の逼迫問題や社会保険庁解体等の影響により、平成20年には独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構(RFO)(平成17年設立)に出資され、厚生年金病院や船員保険病院と共に運営母体が不安定な状況下に置かれてきた時期もありました。しかしながら近年、地域医療崩壊危機が社会問題視され、公的病院として永らく地域医療に貢献してきたこれら3病院グループを、地域医療機能推進のために1つの公的病院グループとして存続させる方針が打ち出され、平成23年の法改正により、平成26年4月からRFOを改組した「独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)」がスタートしました。当院は今までも奥越の地域医療を支えて参りましたが、この新たなJCHOグループの一員になることにより、名実共に奥越の地域医療を支える公的病院として再スタートすることになりました。

JCHOは本部を東京高輪に置き、全国57病院グループ(47旧社会保険病院、7旧厚生年金病院、3旧船員保険病院)を統括運営しておりますが、全国を5ブロックに分け、それぞれに地区事務所を設け、地区事務所が地区病院の運営管理を行っ

ております。当院はJCHO若狭高浜病院と共に東海北陸ブロック(10病院)に所属し、地区事務所は名古屋のJCHO中京病院内にあります。JCHOの使命(ミッション)は、以下の通りです。

- 1) 地域医療、地域包括ケアの要として超高齢化社会における地域住民の多様なニーズにこたえて、地域住民の生活を支える。
- 2) 5疾病(がん、心筋梗塞、脳卒中、糖尿病、精神疾患) 5事業(救急医療、災害医療、僻地医療、周産期医療、小児医療)、リハビリテーション、その他地域において必要とされる医療及び介護を提供する機能の確保を図る。
- 3) 疾病予防、急性期医療、回復期リハビリ、介護・在宅まで切れ目のないサービスを提供し、地域医療、地域包括ケアの確保に取り組む。
- 4) 総合診療医の養成に関与し、総合診療医と専門医が協働する地域完結型医療の構築。
- 5) 全国ネットワークを活用し、地域医療、地域包括ケア連携の要となる医療人の育成。
- 6) 独立行政法人として、社会的な説明責任を果たしつつ、透明性が高く、財政的に自立した運営を行う。

当院は奥越唯一の公的中核病院で、13診療科を標榜する199床の小中規模急性期病院でありながら、附属の健康管理センター、介護老人保健施設(100床)、訪問看護ステーション、居宅介護支援センター、人工透析センター(18床)等を併設しており、JCHOのミッション通り、疾病予防から急性期医療、回復期リハビリ(回復期リハビリ病棟40床)、介護・在宅医療まで切れ目のないサービス提供を行っております。今後も今まで以上に、奥越の地域医療・地域包括ケアの要として、医師会の先生方、行政、大学、基幹病院等と積極的に連携を図りつつ、地域住民の方々が安心して暮らせる地域づくりに貢献して参りたいと考えておりますので、今後とも医師会の先生方のご指導、ご協力を宜しくお願い申し上げます。